

第37回開校記念日にあたって

10月1日は、京都府立向陽高等学校の開校記念日です。本校は、開設準備室が京都市立梅屋小学校内に設置された昭和49年10月1日を記念して、10月1日を開校記念日としています。

昭和50年4月10日に第1回入学式が、昭和53年3月1日に第1回卒業式が行なわれました。

開校以来の卒業生は本年3月1日で12,390名となり、現在、社会の様々な分野で多くの先輩が活躍されています。

本校は、普通科単独校として開校され、昭和60年の京都府教育制度改革により、普通科第Ⅰ・Ⅱ類に加え、京都市西通学圏（京都市西京区、乙訓二市一町）唯一の第Ⅲ類体育系が設置されました。以来、多くの体育系部活動が輝かしい実績を残し、学習と部活動の両立のもと活気ある高校生活を送れる学校、それぞれの将来の夢を語り育む学校として諸先輩や地域の信頼を得てきました。



平成22年に第Ⅲ類が募集停止となり、本校のシンボリック的存在であった第Ⅲ類体育系もいよいよ今年の3年生が最後となりました。

一方で、京都府教育委員会の「文化の力をはぐくむ『京育』推進事業」の指定を受けるなど文化部活動の活性化を推進する新たな動きも始めています。

開校記念日を迎えるにあたって、諸先輩方がこれまでの伝統を築かれる途上において抱かれた夢や理想に思いを馳せるとともに、自らが自分の生き方や将来設計の関わりの中で、今、「何を学び」「何を行わなければならないのか」を考える機会にしたいと思います。

また、Ⅲ類体育系の残した実績を継承・発展させるとともに卒業生や地域の信頼と大きな期待に応えるため精進し、「京都府立向陽高等学校」を次代に引き継いでいきたいと考えています。

10月1日の「開校記念日」を多くの皆様とともに祝福したいと思います。

平成23年10月1日

京都府立向陽高等学校
校長 竹田保雄